

parité



特集インタビュー シオリヌ(大貫詩織)さん

Contents

- P10 parité Library
- P11 parité News
- P12 parité 通信
- P15 企画運営委員会委員・編集後記
- P16 女性相談「悩みなんでも相談」

包括的性教育とは

男女平等参画社会は、すべての市民が性別にかかわらず共に活躍できる社会です。
仕事も子育ても生活も楽しめる、そんなライフスタイルについて考えてみませんか。

Interview インタビュー

あなたのからだは あなたのもの あなたが決める 権利を伝えたい

包括的性教育とは

YouTubeで性教育を始めようと思ったきっかけは？

助産師として性教育の大事さを痛感

私は、助産師・看護師・保健師の免許を取得して、総合病院の産婦人科で出産のお手伝い、赤ちゃんやお母さんのケアをしていました。助産師の仕事は幅広く、自分は何を調べていこうかと考えていくうちに、お母さんたちと話すうえで性教育の大事さを痛感することが多く、性教育に関心をもつようになりました。社会人3年目から、民間の資格を取得したり、絵本を読んだり、セミナーを受けたり、性教育の勉強をしました。さらに、助産師団体の性教育の部会に所属し、地域の子どもたちに性教育を行う活動を始めました。

包括的性教育とはどんなもので、これまでの性教育と何が違うのでしょうか。性教育YouTuberとして、子どもたちが知りたかった正しい性教育の動画を配信してきたシオリーヌさんに、なぜ包括的性教育が必要か、学校の教材『コロカラBOOK』について、包括的性教育のことを親はどう子どもに伝えたらいいのか、若い人たちに最も知ってほしい権利などを語っていただきました。

動画なら多くの子どもに伝えられる

性教育の勉強をしていくなかで、子どもたちが安心して相談したいと思える大人でいるために、どんな態度で、どんな言葉を選べばいいか、話をするスキルも身につけたいと考えるようになりました。そこで、普段から思春期の子どもたちと接することができる精神科の児童思春期病棟の看護師に社会人4年目に転職しました。子どもたちに性教育の話をしたり、患者さん向けの性教育のプログラムを立ち上げたり、近隣の学校で講演活動も行いました。しかし、講演で会える人数は限られていて、1回90分の講演で伝えられることにも限界があります。性教育は幅広く、子どもたちに知ってほしいこと、伝えたいことがたくさんありました。そこで、動画を使って広く発信すれば、

子どもたちに気軽に性教育の情報にふれてもらえると思ったのです。病院勤務をしながら、2019年2月にYouTubeをスタートしました。

当初は、フルタイム勤務から非常勤に変えてもらい、勤務日数を減らして、休日に動画制作を行っていました。病院の方たちが私の活動を理解してくださり、応援してもらえたので働きやすく、私自身は病院の仕事も大好きでしたね。しかし、徐々に性教育に関する仕事をいただくことが増えてきて、もっともっとやりたいと思うことがたくさんあったので、今しかできないことをやってみようと思った。YouTubeを始めて半年後に病院を辞めて、そこからは個人で講演や、動画配信、書籍執筆などさまざまな方法で性教育を伝えてきました。

若い世代の反響がやりがいに

YouTubeでは「性的話をもっと気軽にオープンに」をテーマに、性の知識を学べる動画を配信。当初は、そもそも性教育について発信している人がほとんどいない時代だったので、ギョッとしている反応が多くみられました。しかも20代の女性が、顔を出して、名前も出して、性教育を語るなんてビックリ！みたいな感じ。



シオリーヌ(大貫 詩織)さん

株式会社Rine 代表取締役
助産師/性教育YouTuber
総合病院産婦人科、精神科児童思春期病棟にて勤務ののち、現在は学校での性教育に関する講演や性の知識を学べるイベント等の講師を務める。

YouTubeチャンネルでは、性の知識を気軽に学べる動画を配信中!





包括的性教育の必要性について どう思いますか？

国際基準の性教育は幅広いもの

日本では性教育というと、男女のからだの違い、妊娠のしくみ、避妊方法、性感染症など、命を育むことや生殖に関すること、からだのしくみを学ぶというイメージがあると思いますが、それだけではありません。ユネスコが中心となり、ユニセフ、UN Women (国連女性機関)、WHO (世界保健機関)など、さまざまな国際機関が協力して作った性教育の世界基準といわれる『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』は、とても幅広い内容になっていて、**8つのキーコンセプト**があります。

からだや生殖のことだけでなく、人間関係やジェンダーの理解など、さまざまなコンセプトを含んだ性教育をすべての子どもたちに実施していこうという、『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』に基づいた性教育を、包括的性教育と呼んでいます。

最も伝えたいのは自分の権利

ガイダンスでは5歳から性教育を始めることが想定されており、「自分の持つ権利」について大切に扱います。包括的性教育のなかで私が一番必要だと考えるのは、性教育の根本となる人権教育です。SRHR (性と生殖に関する健康と権利)とありますが、自分のからだは自分のもの

で、自分のからだのこと、性のことは自分で決めるのだ、という権利の意識をまず伝えたいと思っています。誰にでも人権があって、それは尊重されるべきものであると認識していないと、無意識に加害者になってしまっていたり、自分が性被害を受けているのにそれが性被害なのだ気づけなかったり、誰かに「助けて」と言ってもいいことなのだと分からなかったりすることがあるのです。それを防ぐためにも、人権について必ず伝えてい

子どもにどう伝えたい？ 正しい性の知識

小さな声かけから性教育は始まる
家庭での性教育は日常会話の積み重ね

8つのキーコンセプト

1. 人間関係
2. 価値観、権利、文化、セクシュアリティ
3. ジェンダーの理解
4. 暴力と安全確保
5. 健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル
6. 人間のからだと発達
7. セクシュアリティと性的行動
8. 性と生殖に関する健康

だと思っています。子どもが生まれて、その子に何かを語りかける時から性教育は始まっているのです。私自身も自分の子どもに接するときは、赤ん坊の頃からオムツに勝手に触らない、オムツを勝手に開けないことを意識しています。今はまだ2歳ですが、「ちょっとオムツ見ますよ」と言ってからオムツを触り、「オムツを開けますね」と断ってから開ける。**プライベートゾーン**に触れるときは「拭きますよ」と声をかける。お風呂でからだを洗うときも、いきなり触ることはしません。日常での小さな同意、小さな声かけの積み重ねで、自分のことを大事にしてくれる人は、からだに触れるときには声をかけてくれる、「いやだ」と言ったらやめてくれる、それが普通だということを学んでほしいと思っています。逆に子どもが

プライベートゾーン

- ・見せない
- ・触らせない
- ・写真をとらない
- ・写真をあげない

他の人には

私の胸をふざけて触ってくるときは「お胸は触らないで」と親でもNOを言う姿勢をみせるのも大事。「いきなり触られたらビックリするよ」と説明することもあります。

今までの日本社会は「性の話はタブー」とされてきたし、学校でほぼ教わっていなかったから、「性教育は恥ずかしい」という人が多いと思いますが、それは当然です。子どもに「コンドーム」という単語を言うだけでもハードルが高いかもしれません。そんなときは、ぜひ自分が受け手として性教育を受けてみてください。習ってないことを人に教えるのは難しいです。最近では性教育の動画、本、子ども向けの絵本など、いろいろなコンテンツがあるので、自分が生徒として見て、性教育って大事なんだ、これは子どもに伝えないといけない、という気持ちが湧いて、こういう言い方なら子どもに伝えられそう、と感じたら話してみるといいでしょう。もし自分の口からは言いにくいなら、一緒に動画や本を見たり、「大事な本だから読んでみてね」とプレゼントしたりする方法もあります。

■ 性の話ができる関係性を築く

家庭での性教育で一番大切なのは、知識を正しく伝えることよりも、何かあったときに気軽に話せる関係性になっておくこと。

例えば、妊娠したかもしれない、性被害に遭っている気がするなど、子どもが

誰にも相談できず一人で抱え込んで悩んでしまうなんて、絶対にさせたくありません。そういうときに一番最初に話してほしいし、味方になって助けてあげたいと思うのが親御さんですよ。何か起こったときに相談してもらえれば最も身近な大人であるために、普段から性の話がしやすい関係性を築いていくことが家での性教育の第一目標です。

学校の副教材になった コロカラBOOKとは？

■ 動画を見ながら包括的性教育を学ぶ

構想の段階から相談を受けて、アイデア出しから携わった『コロカラBOOK』は、2024年4月に刊行された、中学校で包括的性教育について学ぶための教材です。『国際セクシュアリティ教育ガイドンス』を参照して、からだの変化や生殖のしくみだけでなく、からだの権利・ジェンダー・性の多様性・コミュニケーション・性暴力など、幅広い分野を扱っています。子どもがウェルビーイング(幸福)を実現させるために、これらの知識に基づいて、よりよい選択をしたり、自他ともに尊重される関係性を築いたりするための態度やスキルを身につけることを目標とした教材です。

本に載っているQRコードを読み込むと動画が見られますが、この授業動画の出演を全部、私が担当しました。性教育の授業をする場合、学校の先生方でも難

しさを感じたり、抵抗感があったりする人はいるでしょう。時には生徒にからかわれたり、セクハラを受けたりすることがあるかもしれません。でも、この教材を使っただけで、言いにくい性の話も私が代わりに全部しゃべっているだけでいいのです。性教育の授業をすれば先生方の心理的なハードルを下げられるので、ぜひ活用してほしいと思います。子どもたちには、授業が終わった後もずっと持っていられて、何か悩んだこと、困ったことがあったときに読み直してほしいですね。これからの人生で、子どものお守りになる本だと考えています。

性教育が
当たり前の世の中
になるといいですね



コロカラBOOK

出版社：正進社

書店で市販されていない学校の教材。前半が授業で使うパート「教室で観よう」、後半は一人で読むパート「自分で読もう」の二部構成になっている。

いま、若い人たちに 一番伝えたいことは？

■ あなたのことはあなたが決めていい

いろいろな学校で性教育の講演をさせてもらっていますが、最初に話すのが人権。あなたのからだはあなたのもので、あなたのことはあなたが決めていいんだよ、という権利を知ってほしいと思っています。若い人たちは、親や先生などの大人から自分の行動に対して良いとか悪いとかジャッジを受けて、自分の考えが尊重されない経験をしているでしょう。でも、あなたのことはあなた自身が納得して決めることが一番大事で、嫌だと思ったら嫌だって言っているんだよ、ということをお伝えしたいのです。そして、自分の意志で選択するには判断基準になる情報が必要だから、と性教育の大切さを伝えるようにしています。

■ 「おかしい」と気づける感覚が必要

避妊や性的暴力、性的同意、セクハラなどに関する正しい知識があれば、何か不当な扱いを受けたときに「おかしい」と気づける感覚が身につくと思います。男の子の場合、性の情報源はアダルトコンテンツが上位で、性的同意を軽視したり、痴漢やレイプなどを性暴力と認識できなかったりと、偏った情報を鵜呑みにしてしまう可能性もあります。リアルな人間関係では、その人のからだはその人のものだから、触れたいと思ったときには同

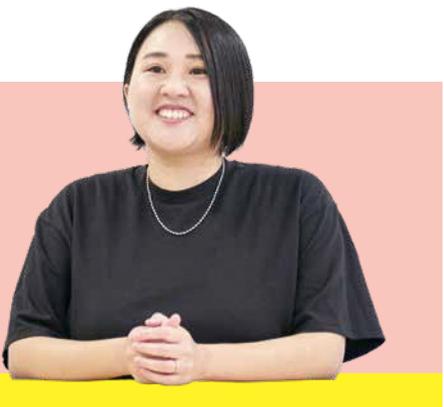
意を得る必要があるのだと子どものうちから理解してほしいですね。

自分のことを自分で決められるようになるには、自分の意見が受け入れてもらえた成功体験を積み重ねて自信を育てることが大事です。家庭はそれを練習できる身近で安全な場所。着たい服を選んでもらったり、「お散歩に行くよ」ではなく「お散歩に行く？」と聞いてみたり、小さな同意をたくさん求めて、自分のYES・NOに意味があることに気づいてほしいと思っています。毎日の子育ての中では、私も実践できない場面が多々ありますが…(苦笑)。

これから活動していきたいことは？

■ 性教育が当たり前の世の中に

講演会では、第二性徴、生理や射精のしくみ、避妊のしかたや避妊具の入手方法、妊娠が疑われたときの対処など、どんな選択肢があって、誰に相談をすればいいか、相談窓口の情報も提供して、あなたが



決めていいことだと伝えていきます。性教育が当たり前の世の中になるよう、性教育の必要性と伝え方を話していきたいですね。

YouTubeの配信も続けますが、最近は性教育の授業的コンテンツが増えたので、私の動画では自分の子育てや夫婦関係など、同年代のお母さんが私の日常を身近に感じてくれる話題にシフトしました。もちろん、ただの日常話ではなく、ジェンダーや子どもの権利を尊重した子育てについて考えてもらうきっかけになる動画を配信し、裾野を広げていきたいと考えています。

■ 産後ケアで母親もサポートしたい

2024年5月に『特定非営利活動法人コハグ』を立ち上げました。助産師、看護師、保健師の免許を持った10人のメンバーを中心に、看護学生などのボランティア100人くらいの登録メンバーと産後ケアの活動をしています。たとえば、産後1年以内の親子を身体的にも心理的にもサポートする「産後ケア銭湯」を実施。地域のスーパー銭湯に出張して赤ちゃんを一日預かり、親御さんに一人でゆっくりお風呂に入って、レストランで食事をして、ゴロゴロ仮眠して、元気になってもらうのです。自治体の産後ケアは手続きが煩雑で利用者が限られている、民間の産後ケアホテルは1泊6~7万円が相場、という課題がありました。そこで、誰でも1回1万円以内で気軽に利用できて、ちょっとした育児相談もできる産後ケアを提供していきたいですね。

おすすめ contents

親には話せないけれど、自分のからだのこと、不本意な妊娠やデートDV被害などに悩んでいる方は、一人で悩まず相談してみませんか。チャットやLINEでも相談できます。

保護者の方向けに、性教育の参考書籍もご紹介いたします。

※詳細については、各機関のHPをご確認のうえお問合せください

とうきょう若者ヘルスサポート(わかさぼ) ☎0120-372-463(無料)

看護師等が10代のからだやこころの悩みにお答えします。匿名も可能です。都内在住・在学の中学生以上の10代の方で、予期しない妊娠の可能性や緊急避妊の必要性のある方は、こちらでご相談できます！

【受付時間】火・水・金 15:00~20:00
日 9:00~14:00

【定休日】1月1日

対面相談・メール相談もあります。詳しくはHPから



Curetime(キュアタイム)

性暴力の悩みを、年齢・性別・セクシュアリティを問わず匿名で相談できます。相談内容が漏れることはありません。

【メール相談】

年中無休

【チャット相談】

17:00~21:00

日本語 年中無休

外国語(10ヶ国語) 月・水・土



にんしんSOS東京

医療・福祉系国家資格保持者で構成された相談チームが対応します。

【電話相談】

☎03-4285-9870

年中無休、16:00~24:00
(受付は23:00まで)

【メール相談】

年中無休、24時間受付

【チャット相談】

月・水 20:00~22:00

土 13:00~15:00

20:00~22:00



NPO法人ピルコン

「人生をデザインするために性を学ぼう」をコンセプトに、科学的に正確な性の知識と人権尊重に基づく情報発信をしています。「ピルコンU30のためのメール相談」や、「ピルコンにんしんカモ相談(LINE)」を行っています。

ピルコン

にんしんカモ相談▶



やらねばならぬと思いつつ ~超初級性教育サポートBOOK~

著者 | シオリヌ(大貫 詩織)
イラスト | ゆまママ
出版社 | ハガツサ ブックス

「子どもたちとちゃんと話したい」を、助産師のシオリヌが応援します！



おうち性教育はじめます 思春期と家族編

著者 | フクチ マミ
村瀬 幸浩
出版社 | KADOKAWA

思春期の子どもたちの心とからだの変化から親子の距離感まで、全部マンガでわかる!



男女平等参画をはじめとするさまざまなテーマの本を紹介します。男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご活用ください。



たぶん私たち一生最強

著者 | 小林早代子
出版社 | 新潮社

高校時代の女友達4人のルームシェアの小説。全体的にはコメディ調ですが、小学生の姪っ子の不登校や、子宮系の患い等、社会的な問題にも触れています。最終的には、4人でルームシェアしながら、子育てをする話です。人生は、人それぞれ、自分の人生は周りに囚われず、自分らしく生きることにも勇気を与える小説です。



3万人の大学生が学んだ 恋愛で一番大切な“性”のはなし

著者 | 村瀬幸浩
出版社 | KADOKAWA

大学でのセクシュアリティ教育の授業を受講した学生の声も紹介。「男らしい」「女らしい」といった固定観念は私達が育ってきた環境で無意識に植え付けられてきた。その固定観念から離れ、対等なパートナー関係の在り方を考えるきっかけとなる。人間の「性」は心理的繋がりから信頼関係が生まれ、「愛」に満ち溢れているもので、自分の思いを語る大切なコミュニケーションである。次世代へ語り継ぎたい一冊。



10代の妊娠 友だちもネットも教えてくれない性と妊娠のリアル

著者 | にじいろ 監修 | 高橋幸子
出版社 | 合同出版

かわいい絵柄ですが10代の人たちの切実な現状を教えてくれています。まだまだ狭いコミュニティに属する10代では情報も手段も限られ、わからないことはたくさんあると思います。しかし実はサポートする人も仕組みも多くあります。大切なのは10代に届けることだと思います。そのためにも大人に読んでほしい本です。

男女共同参画に関連する法律や制度の改正、または世界や日本の統計調査の結果など、みなさんの生活にかかわりのあるホットな話題をお伝えします。

職場の多様性の壁「オールド・ボーイズ・ネットワーク」

男性だけのルールや暗黙の文化が女性や若者の活躍を阻む

閉鎖的なルールや仕事の進め方を「見える化」することが必要

政府は2030年までに指導的地位に占める女性の割合が30%になる目標を掲げていますが、女性管理職はなかなか増えないのが現状です。NPO法人J-Win(ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク)では、女性の活躍を阻む問題は3つあると考えています。「将来像が見えない」「仕事と家事/育児とのバランス」、そして企業内での大きな問題となる「オールド・ボーイズ・ネットワーク(OBN)」。

OBNとは、男性社会である組織や企業で長年培われてきた明文化されていないルールや仕事の進め方、暗黙の文化、職場環境のこと。具体的には、男性だけのネットワークでの情報交換や意思決定、上司に対する忖度や根回し、女性にお茶出しや掃除、男性のサポート業務などをさせる、女性への過剰な配慮や思い込み、深夜・長時間労働などがあります。

仕事を進めるために大切な知識や暗黙知、必要な行動規範などが、女性に限らず若者にもほとんど伝えられないことがマイノリティの活躍を阻んでいます。多様な価値観を持つ人たちがお互いを受け入れ、議論できるダイバーシティ&インクルージョンを阻害する要因の一つがOBN。多様性を受け入れる風土を醸成するためには、マジョリティである男性がOBNに気づき、自分事として受け止め、壁を打ち破ることが大切。マイノリティの立場や気持ちを理解して寄り添い、十分なコミュニケーションをはかり、積極的にサポートすることが求められます。

ルール、仕事の進め方などを、誰もが知って理解できるよう「見える化」し、壁を低く薄くすることが、企業や地域の多様性と持続的な成長をもたらすでしょう。



センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。
2024年度に開催した事業をご紹介します。



#1 共働きのパパママ必見！ 成長期のお子さまの食事ポイントセミナー 開催日 2024年3月2日(土)



講師 | 佐藤彩香さん

スポーツ管理栄養士の佐藤さんに、ご出産間もない大変な時期でしたが講演していただきました。多くのジュニアアスリートと関わり、母親にもなられた佐藤さんの話を聞き、食事とは単に栄養の話だけではなく、子どもとのコミュニケーション、ひいては価値観や人生観にも影響する大切なことだと学ばせていただきました。



#2 FIRE父さんが子どもに贈りたい言葉 —限りある人生、どのように生きていくべきか— 開催日 2024年4月20日(土)



講師 | 寺澤伸洋さん

自分も2人の男子の父親なので、自分の子たちと自分の将来を思い浮かべながら聞かせていただきました。お金の話もありますが、それ以上にご自身の学んだことや教訓をどうお子さんたちに伝えるか、という話が主体でした。ご本人も自分語りになったとおっしゃってましたが、お子さんたちに対する真摯な姿勢を感じられました。



#3 カンタン!かわいい!癒しのハーバリウム ~好きなお花、好きな色で世界に一つだけのハーバリウムを作ろう!~ 開催日 2024年6月5日(水)



講師 | 南雲みささん

ハンサムママ出身の講師によるハーバリウム講座。起業のきっかけのお話やハンサムママのお話を伺いました。その後、ハーバリウムの作り方を教わった後、各自で作成。作成後、それぞれの作品に対する想いを発表。皆の作品を見て、日常の忙しさを忘れることができ、リフレッシュできました。



#4 子育て世代の心も体もHAPPYにする ~リアルな子育て目線から『こんなカフェが欲しい!』を 本当に実現させちゃったオハナシ~ 対面:2024年6月20日(木) 配信:7月1日(月)~31日(水)



講師 | 近岡夏海さん

子育て真っ最中のなっちゃんが忙しい日々の中でも理想のために多くの人と協力しながらカフェを開くお話。大切なことは、1人でがんばるのではなく、みんなと助け合うこと。誰かに助けてもらうことは躊躇してしまいがちですが、理想や目的があれば助ける人も嬉しく、みんながHAPPYになると知ることができました。



#5 女性がこれから更年期に向けて気をつけるべき 生活習慣・セルフケア ~更年期を一緒に考えよう!~ 開催日 2024年7月6日(土)



講師 | 柏木由美さん

いつまでも自分らしく健康で幸せに年齢を重ねたい! 正しい知識とセルフケアの方法を学び前向きに更年期を迎えたい! そう思い柏木先生に来ていただきました。更年期が「幸年期」となるように気をつけるべき生活習慣、運動を学びました。まずは1人で抱え込まず気軽に病院に相談に行く大切さを知りました。



#6 それって“男性更年期”? ~明日からできる対策を知ろう~ 開催日 2024年7月10日(水)~2025年3月31日(月)



講師 | 看護師マッキーさん

実はあまり知られていない「男性更年期」を看護師マッキーがわかりやすく解説。40・50代の男性やその家族に男性更年期の症状や対策について説明しています。この動画では、男性更年期の症状を軽減するための対策や改善方法についても紹介されています。3月までの配信ですので、ぜひご覧ください!



3月31日まで動画配信

#7 ママとパパにきいてほしい「思春期」とは!?

～子どもとの関わりのヒントにしよう～

開催日 2024年10月16日(水)



講師 | 石森正恵さん

地域で医療的ケア児、産後ママの支援をしている石森正恵さんにお話しいただきました。ママ・パパ自身の「思春期」時代も振り返りながら、思春期の特徴や心とからだについて学ぶことで理解が深まりました。グループワークでは参加者同士が対話し、子育てについて共感したり、悩みを共有できたり、新たな考え方も得られる有意義な時間となりました。



#8 赤ちゃんと一緒に話そう、遊ぼう!

初めてママのプログラム～マザースタート・プログラム～

開催日 2024年10月17日・31日、11月7日・21日(木) (4回連続講座)



講師 | NPO法人ワーカーズ・コレクティブ ちろりん村
マザースタート・プログラムファシリテーター

4日間でお母さん達の繋がりが出来、更に赤ちゃんも一緒でお互い子育ての悩みなども共有出来る空間になりました。子育てには仲間が大切だと思います。お母さんの孤立感が大きいので、仲間と一緒に支え合える事で、辛い事があっても、話せる場所があると力が湧いてきます。これからも、お母さんが笑顔になれるような子育てのお手伝いが出来ればと思っています。



#9 中学校に“包括的性教育”を届けたい!

～いま子どもたちに必要な学びとは?～

動画配信 2024年11月11日(月)～2025年3月31日(月)



講師 | (株)正進社コロカラ編集部のみなさま

すこし難しい名前の「包括的性教育」ですが、その内容は性教育に限らず、人のあり方、コミュニケーションなど、まさに人として生きていくために必要な内容だと実感しました。トピックを知るだけでも課題の広さを知ることができますし、具体的な授業内容の例もあり臨場感がありました。これは人に優しくなれるための教育だと思いました。



3月31日まで動画配信

パリティ34号 /

企画運営委員会委員 編集後記

シオリーヌさんのインタビューを含む性教育の特集で「権利の尊重」について改めて考えさせられました。またONBの記事では、これが男女問題だけでなくZ世代の若者全体の課題ということに気づき、就活を控える大学1年の娘を持つ親として、この閉鎖的な組織文化の改革を願わずにいられません。 佐藤優子委員

今回の特集は全ての人に必要な情報だと思います。世界基準の8つのキーコンセプトは初めて知りました。「自分を大切にす」「あなたのことはあなたが決めていい」など性教育にとどまらず毎日頃から声かけて何でも言い合える親子関係を築いていきたいと思っています。 稲葉委員

日本社会では「性の話はタブー」とされて、家庭でも学校でも性教育を受ける機会が少ないです。しかし、正しい知識がなければ、最終的に困ることになります。そうならないように、この情報を活用していただくと幸いです。 秦委員

現代は多様性の時代ですが、まだまだ格差があり、偏見や辛い思いをしている人がいるのも事実です。自分が勉強不足で知らなかったこともあります。だからこそ、少しでも理解して全ての人が生きやすい世の中であって欲しいと思います。 佐藤鹿子委員

表紙のメッセージ「あなたのからだはあなたのもの。あなたが決める権利がある」は当たり前のように、いわゆる上下関係(親子・教師と生徒・先輩後輩・上司部下など)の場面では悪気なく抑圧されることが多くあります。この問題は根深いですが、その解決にこの号は一助になります。 大森委員

今号の特集の包括的性教育。思春期になると性に関する親子のコミュニケーションは難しくなりますが、「自分のからだを大切にすること」や「コミュニケーション」など、子どもが小さい時から家族内で性に関する会話をすることが大切だと実感しました。 寺澤委員

男子にも女子にもきちんと自分の権利を知ってほしい。とはいえやはり伝え方はむづかしいと感じてしまうのでシオリーヌさんが発信している動画コンテンツや、コロカラBOOKという教材は素晴らしいと思いました!どんどん普及されて性の情報を知ることが当たり前の世の中になってほしいと思います。 浅見委員

今の子ども達には「包括的性教育」を学んでほしいです。私も母親として、何かあった時には子どもから相談してくれる関係性を大切にしたいです。そして「性」への関心は自然なことだからこそ、まずは自分も相手も大切にしながら信頼関係を築いてほしいと伝えたいです。 内海委員

悩んでも相談

秘密厳守
相談無料

予約制

女性相談
申込フォーム



予約受付電話 **042-439-0075**

日々の暮らしの中での自分自身のこと、家族のこと、職場や学校での人間関係、パートナーの暴力などで不安を感じて「どうしていいかわからない」というときは、ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

面接による相談ですが、来所が難しい方は予約受付時にご相談ください。

予約受付時間

月曜日～金曜日…午前9時～午後5時
(木曜日のみ午後8時まで)
※祝日並びに年末年始を除く
申込フォームでは、毎日、24時間受付

場所

- ・住吉会館内 男女平等推進センター パリテ
- ・田無庁舎2階 相談室

これって
もしかしたら
暴力？ モラハラ？

すぐに離婚したい
わけじゃないけど、
多少の知識は
得ておきたい。

こんなささいなこと
でも相談しちゃって
いいのかな。



パリテ
parité Vol. 34
2025.3

愛称「パリテ」とは…フランス語で"平等な"という意味です。

- 企画・編集 / 男女平等推進センター企画運営委員会
 - 発行 / 西東京市生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
- 〒202-0005 西東京市住吉町6-15-6 住吉会館内 ☎ 042-439-0075

- 企画運営委員会委員 / 浅見美沙、稲葉友香、内海杏奈、大森剛、佐藤鹿子、佐藤優子、寺澤真奈美、秦かおる
- 制作 / 株式会社ドゥ・アーバン

●情報誌「パリテ」は西東京市のホームページからもご覧いただけます。

🏠 <http://www.city.nishitokyo.lg.jp>

●ご意見、ご感想をお寄せください。

✉ kyoudou@city.nishitokyo.lg.jp



● Access ●



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。